



3

Toyo Kaneshige  
and  
Handeishi Kawakita

川喜田半泥子  
— その作品と交流 —



4



1

備前焼  
人間国宝

金重陶陽と



2

企画展

2012  
9.28[金]—11.25[日]

◆開館時間/10時~17時(入館は16時30分まで) ◆休館日/月曜(祝日の場合は翌日)  
◆入館料/一般500円[400円]学生300円(高校生以上) ※[ ]内は20名様以上の団体料金

同時開催 第2展示室

所蔵品展

川喜田半泥子とその周辺 — 半泥子の茶陶 —

公益財団法人  
石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18  
【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789  
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>



## 企画展 備前焼人間国宝 金重陶陽と川喜田半泥子 —その作品と交流—

**金** 重陶陽(1896~1967)は、備前窯元六姓のひとつ金重家の長男として現在の備前市伊部に生まれ、デコ師(細工人)として高い評価を得たのち、桃山陶芸の研究を重ねて茶陶への転換をはかりました。「備前焼中興の祖」と言われ、昭和31年(1956)には、備前焼初の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。また、備前焼の個人作家として新たな地位を築いたさきがけでもあることから、「現代備前のバイオニア」とも称されています。

当館の創設者川喜田半泥子(1878~1963)と金重陶陽とは、美濃の荒川豊藏、萩の三輪休和との4人で作陶連盟「からひね会」を結成するほか、お互いの窯を訪ねて作陶するなど、頻りに交流していました。

本展では、陶陽の代表作により、その作品の変遷と偉業を紹介するとともに、陶陽と半泥子の合作、陶陽に贈られた半泥子作品、半泥子が愛用していた陶陽作品ほか、2人の交流を物語る書簡や文献資料も展示いたします。

(表)

1. 備前緋襷透手焙 金重陶陽作 個人蔵
2. 備前砧形花生 金重陶陽作 京都国立近代美術館蔵
3. 備前馬置物 金重陶陽作 個人蔵
4. 備前耳付水指 金重陶陽作 個人蔵
5. 備前三角花器 金重陶陽作 個人蔵
6. 彩色備前閑古鳥香爐 金重陶陽作 倉敷市立美術館蔵
7. 備前我庵写花入 金重陶陽作 武者小路千家蔵
8. 備前三角播座花入 金重陶陽作 岡山県立美術館蔵
9. 備前沓茶盃 銘「ざざれ石」 金重陶陽作 個人蔵
10. 備前半月鉢 金重陶陽作 個人蔵
11. 備前肩衝茶入 銘「秋ノ山」 金重陶陽作 個人蔵
12. 伊部の印象図 川喜田半泥子筆 個人蔵

撮影(1,3~5,8~11):黒原三郎

### 記念講演会

#### 交遊が作陶に与える影響について —陶陽と半泥子の場合—

- 講 師: 上西節雄氏(吉兆庵美術館顧問)
- 日 時: 10月13日(土)14時~15時30分
- 場 所: 津商工会館丸之内ホール(津市丸之内29-14)  
※電話にて石水博物館までお申し込みください。  
(TEL.059-227-5677・申し込み先着80名様)

### 次回展覧会

■ 会 期: 11月30日(金)~平成25年2月3日(日)

#### 石水所蔵名品展

—新三重県指定文化財 古伊賀水指 銘「鬼の首」を中心に—

### 展示替え休館

11月26日(月)~11月29日(木)



### 交通アクセス

- JR・近鉄津駅より三重交通バス(久居駅方面行)にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方  
【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(緑の看板あり)を左折。約300m先左側。(駐車場15台)

## 公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18  
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789  
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

## 企画展

# 備前焼人間国宝 金重陶陽と川喜田半泥子-その作品と交流-

平成24年9月28日(金)～11月25日(日)

## 出展目録

### 第1展示室

	作品名	作者	制作年代	所蔵者
1	備前緋襷閑古鳥香爐	金重陶陽作	昭和初期	個人
2	彩色備前閑古鳥香爐	金重陶陽作	昭和初期	倉敷市立美術館
3	備前緋襷鳶透手焙	金重陶陽作	昭和12年(1937)	個人
4	備前我庵写花入	金重陶陽作	昭和7年(1932)	武者小路千家
5	竹茶杓	金重陶陽作	昭和15年(1940)	石水博物館
6	備前茶入	金重陶陽作	昭和10年代	石水博物館
7	備前大破釜	金重陶陽作	昭和13年(1938)	個人
8	「卯年隨筆」(半泥子日記)	川喜田半泥子筆	昭和14年11月26日付	石水博物館
9	備前耳付水指	金重陶陽作	昭和38年(1963)	個人
10	備前沓茶盃 銘「さざれ石」	金重陶陽作(淡々斎銘)	昭和28年(1953)	個人
11	備前緋襷茶盃	金重陶陽作	昭和31～32年	個人
12	備前緋襷茶入 銘「布袋」	金重陶陽作(不徹斎銘)	昭和29年(1954)	武者小路千家
13	備前肩衝茶入 銘「秋ノ山」	金重陶陽作(即中斎銘)	昭和36～37年	個人
14	備前三角播座花入	金重陶陽作	昭和29年(1954)	岡山県立美術館
15	備前砵形花生	金重陶陽作	昭和38年(1963)	京都国立近代美術館
16	備前緋襷花器	金重陶陽作	昭和25年(1950)	個人
17	備前三角花器	金重陶陽作	昭和32年(1957)	個人
18	備前馬置物	金重陶陽作	昭和32年(1957)	個人
19	備前大小播鉢 二口	金重陶陽作	昭和14年(1941)	石水博物館
20	備前長角台鉢	金重陶陽作	昭和26年(1951)	個人
21	備前四方平鉢	金重陶陽作	昭和28年(1953)	個人
22	備前半月鉢	金重陶陽作	昭和41年(1966)	個人
23	備前徳利 梅絵釘彫	金重陶陽作・奥村土牛彫	昭和38年(1963)	個人
24	備前徳利	金重陶陽作	昭和39年(1964)	個人
25	備前酒呑	金重陶陽作	昭和39年(1964)	個人
26	備前緋襷平鉢	川喜田半泥子作	昭和10年代半ば	個人
27	備前火襷画賛入平鉢	金重陶陽作・川喜田半泥子画・正宗敦夫賛	昭和14年(1939)	石水博物館
28	伊部の印象図	川喜田半泥子筆	昭和15年(1940)頃	個人
29	「泥佛堂日録」其十一 (『焼もの趣味』子六号掲載)	無茶法師(半泥子)著	昭和11年(1936)7月	石水博物館
30	金重陶陽書簡(半泥子宛)	金重陶陽筆	昭和11年5月24日付	石水博物館
31	白茶碗(千歳山窯)	金重陶陽作	昭和10年代半ば	石水博物館
32	竹茶杓 銘「アコウ」	川喜田半泥子作	昭和15年(1940)	個人
33	「泥佛堂日録」續々の六 (『焼もの趣味』六の八号掲載)	無茶法師(半泥子)著	昭和15年(1940)8月	石水博物館
34	金重陶陽書簡(半泥子宛)	金重陶陽筆	昭和15年6月17日付	石水博物館
35	半泥子日記	川喜田半泥子筆	昭和17年2月16日付	石水博物館
36	備前大破播鉢	金重陶陽作	昭和20年代前半	石水博物館

**所蔵品展**  
**川喜田半泥子とその周辺**  
**2012-4期〈半泥子の茶陶〉**  
 平成24年9月28日(金)～11月25日(日)

**出展目録**

**第2展示室**

	作品名	作者	窯・年代・素材ほか	備考
1	焼締茶碗 銘「さび柿」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
2	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年頃	
3	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
4	黒織部茶碗 銘「富貴」	川喜田半泥子作	千歳山窯	寄託
5	織部黒茶碗 銘「暗香」	川喜田半泥子作	千歳山窯	藤田等風コレクション
6	粉引茶碗 銘「たつた川」	川喜田半泥子作	広永窯	
7	志野茶碗 銘「おらが秋」	川喜田半泥子作	広永窯	
8	井戸手茶碗 銘「おぼろ」	川喜田半泥子作	広永窯	
9	白掛茶碗 銘「これはしたり」	川喜田半泥子作	広永窯	寄託
10	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年	
11	井戸手茶碗 銘「ひばり」	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年	
12	井戸手茶碗 銘「初紅葉」	川喜田半泥子作	広永窯・昭和22年	
13	志野茶碗 銘「かりがね」	川喜田半泥子作	広永窯	
14	黒茶碗 銘「三保の夜」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
15	片身替茶碗 銘「布袋和尚」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
16	井戸形茶碗 銘「半泥子」	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年頃	
17	呼継茶碗 銘「ねこなんちゅ」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
18	志野茶碗 銘「不動」	川喜田半泥子作	千歳山窯	
19	竹茶杓 銘「須磨琴」	川喜田半泥子作	昭和30年頃	寄託
20	半泥子書簡(茶杓「須磨琴」絵入り)	川喜田半泥子作	(昭和30年)8月22日付	寄託
21	四方香合 銘「早春」	川喜田半泥子作		寄託
22	胴×手茶入 銘「まろにえ」	川喜田半泥子作	岐阜県・牟田洞窯	
23	竹一重切花入 銘「瀧つせ」	川喜田半泥子作		寄託
24	金銀尾花絵蓋物	川喜田半泥子作	広永窯・昭和25年	
25	赤絵紅葉絵水指	川喜田半泥子作	千歳山窯	
26	赤絵鉢(千歳山荘図)	川喜田半泥子作	千歳山窯	寄託
27	葡萄図	川喜田半泥子筆・自賛	昭和26年	
28	茸図	川喜田半泥子筆・自賛		寄託
29	栗図	川喜田半泥子筆・自賛		藤田等風コレクション
30	秋茄子図	川喜田半泥子筆・自賛		
31	政子遺訓	川喜田政筆	明治32年	
32	政子遺訓写	川喜田半泥子筆	昭和25年	仲田秋子氏旧蔵
33	波和遊(How are you?)	川喜田半泥子筆	昭和35年	
34	喚阿巖(Come again.)	川喜田半泥子筆	昭和35年	藤田等風コレクション

**2階山里茶席内**

	作品名	作者	年代・窯・素材ほか	備考
35	雪月花	三千家家元筆	昭和14年(1939)	
36	旅枕花入	川喜田半泥子作	千歳山窯	
37	陶釜	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年	
38	灰釉縮れ砂金袋水指 銘「若水」	川喜田半泥子作	広永窯	
39	刷毛目茶碗	川喜田半泥子作	朝鮮半島・荷苗里窯カ	
40	山里(扁額)	益田鈍翁筆	昭和13年(1938)以前	